

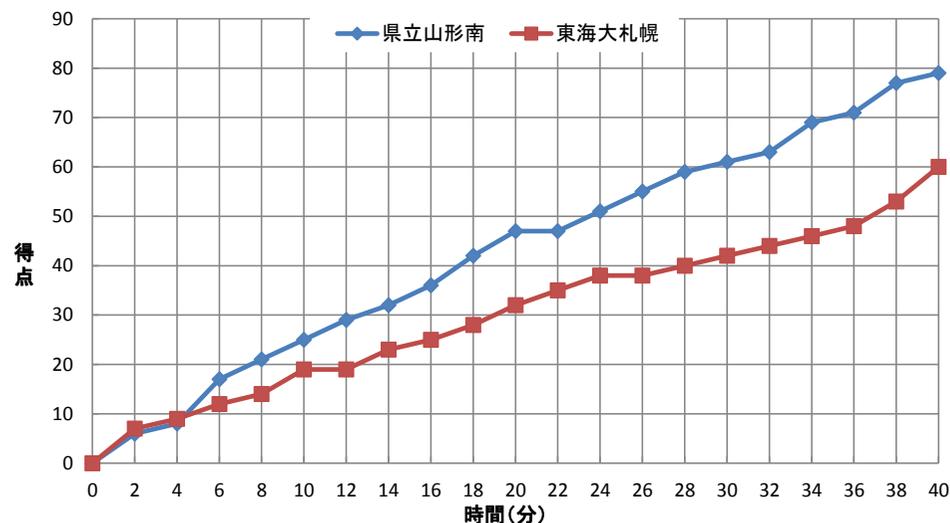


平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男子		平成28年8月2日		11:40 開始													
3回戦		県立総合体育館大アリーナ		D													
◎ 県立山形南 (山形県)		79		60 東海大札幌 (北海道)													
		<table border="1"> <tr><td>25</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>22</td><td>2nd</td><td>13</td></tr> <tr><td>14</td><td>3rd</td><td>10</td></tr> <tr><td>18</td><td>4th</td><td>18</td></tr> </table>		25	1st	19	22	2nd	13	14	3rd	10	18	4th	18		
25	1st	19															
22	2nd	13															
14	3rd	10															
18	4th	18															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	樋口 雄気	20	4	4	0	3	* 4	内田 元貴	0	0	0	0	2				
* 5	斉藤 諒馬	22	0	11	0	3	5	石井 優人	0	0	0	0	1				
* 6	石畠 悠希	15	2	4	1	0	6	高橋 主	-	-	-	-	-				
* 7	高橋 音羽	8	0	4	0	0	7	相馬 陸	0	0	0	0	0				
* 8	大竹 翔	10	0	5	0	3	* 8	白勢 恭平	14	2	4	0	0				
9	児玉 悠人	0	0	0	0	1	9	佐々木 悠斗	9	0	3	3	1				
10	阿部 哲也	-	-	-	-	-	* 10	木村 優斗	2	0	1	0	1				
11	永井 幹久	0	0	0	0	0	11	島谷 怜	0	0	0	0	1				
12	阿部 渡	0	0	0	0	0	12	溝口 月斗	7	0	3	1	2				
13	高橋 広次	-	-	-	-	-	13	山本 鳴海	2	0	1	0	0				
14	漆山 楓	2	0	1	0	0	* 14	柴田 京哉	16	2	5	0	0				
15	榎 陽一郎	0	0	0	0	0	* 15	長尾 光輝	10	2	1	2	1				
コーチ	細谷 尚寿					0	コーチ	佐々木 睦己					0				
Aコーチ	神尾 成人						Aコーチ	島崎 紘一朗									
合計		77	6	29	1	10	合計		60	6	18	6	9				
主審: 平澤明男																	
副審: 佐田幸一																	

得点経過



CTO	1・2P	3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	11:35	18:45	27:15	33:03	:	:	:

〔戦評〕

第1P、両チームハーフコートマンツーマンで試合開始。山形南はスクリーンを多用し、多彩な攻めを見せ、#4の3本の3P、#8の活躍などで次々と得点を伸ばしていく。対する東海札幌はボールを早く動かし、攻撃を組み立てる。東海札幌は#15の2本の3Pなどで食らい付く。25対19で山形南がリードして1P終了。第2P開始早々、山形南#6がミドルシュート、速攻で連続得点をあげ、一気に突き放しにかかる。たまたず東海札幌はタイムアウトを請求。東海札幌は#14を中心とした得点で巻き返しを図る。山形南は#5のゴール下、#6の連続3P、ドライブなどでさらに点差を広げていく。東海札幌はリバウンドを制され、苦しい展開になる。47対32と山形南が15点リードして前半を折り返す。

第3P、両チームハーフコートマンツーマン。東海札幌は山形南の素早いローテーションディフェンスの前になかなかノーマークでシュートを打たせてもらえない。逆に山形南はスクリーンとドライブを上手く使い、落ち着いて得点を伸ばしていく。山形南#6からの#8へのゴール下の合わせが決まり、17点差へと開いたところで東海札幌はタイムアウト。その後も、流れは山形南に傾いたまま、61対42で第3P終了。

第4P、東海札幌はオールコートプレスから圧力をかける。山形南は落ち着いて全員でボール運び、主導権を渡さない。ハーフコートオフェンスでは、山形南が巧みなパスワークから得点を重ね、さらに点差を広げる。東海札幌も速攻や#14の得点などで追いつけを図るが、山形南が落ち着いたゲーム運びを見せ、リードを保ったまま、79対60で試合終了。

ゲームを通して、山形南の冷静なプレーが光り、準々決勝へと駒を進めた。

戦評: 山本風太

記録: 海田高校